

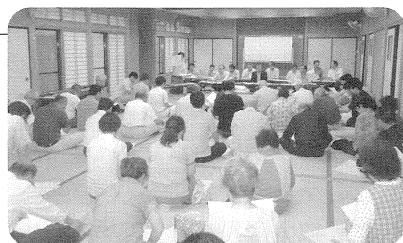
平成29年度 地区懇談会を開催しました！

村では、6月27日から7月26日までの間、村内14会場で地区懇談会を開催しました。多くの村民のみなさんにご参加いただき、村政全般に関して活発に意見交換をさせていただくことができました。各会場で寄せられました貴重なご意見などは、今後の村づくりに反映させていただきたいと思っております。また、各会場での懇談全体の要旨については、総務課総務係へお問合せください。以下、主なご意見、ご要望を一部ご紹介させていただきます。



- Q 村道長野原線（旧ひだや菓子店）の改良計画はありますか。
(原集会施設：60代男性)

A 旧ひだや菓子店を含め3ヶ所の改良を予定しており、随時進めてまいります。



原集会施設

- Q 救急車が通れる道路として地主交渉を含めた改良を進めてほしい。
(対象路線：村道長野大井戸線、大井戸線、また集会所横の道路) (栄町集会施設：地区意見)

A 地区の意向に沿った路線を選定したいが、本日結論がでないと思っておりますので、長野大井戸線と合わせ他の路線も並行して検討していただくとうことでお願いします。

- Q 村道戸口向方線の集落までの道路改良について、以前に示された整備方法となるよう努力してほしい、また国道道の迂回路線として看板が立つよう検討してもらいたい。(戸口集会施設：80代男性)

A 県では、集落までの改良で事業は一端打ち切りをする旨、地区と村に話があったと思います。県代行ではこれ以上できないということなので、再度県代行をお願いするか、現状で我慢願うか、村単独で行うかの何れかになりますが、県から一区切りの話がありましたので、何れの方法がよいか村としても議員と相談しながら、村の実施計画にも加える中で最初から検討していきたいと思っております。結論は言えませんが、方向性を含めて検討させていただきます。



戸口集会施設

- Q 有事の際に、通行可能な道路整備をお願いしたい。(上平集会施設：50代男性)

A 村全体としても同様の地区がいくつもある中、一部の地区だけ手厚くすることは出来かねますが、同じ目線で支援はしていかなければいけないと思っていますので、地区の意見を取り入れながら行政運営に取り組んでまいります。

- Q リニア新幹線の波及効果がどこまであるのか知りたい。(ふれあいプラザ：70代男性)

A 三遠南信、リニア工事が着々と進んでいる中で、天龍村が取り残されないよう、村としてアクセス面で対応できるよう活動してまいります。

- Q 国道418号の整備促進について、トンネル案など、今後の村、県の姿勢をお聞きしたい。また、飯田富山佐久間線の整備促進について、南部の交通網整備、特に近隣町村が一体となり陳情を進め良い道路が出来るようお願いしたい。(原集会施設：80代男性)

A 引き続き強く要請活動をしてまいります。

- Q 湖岸道路の崩落対策としてトンネル化の要望を。(中井侍集会施設：80代男性)

A 国・県に要望してまいります。

- Q** 村長の公約はしっかり対応してもらいたい。龍泉閣、農林業公社は天龍村の財産として認識してもらい、しっかり利用するなど次世代に引き継いでもらいたい（村民のそれぞれが利用するようにするのは村長の使命）。また、村長がそれぞれの社長をしている事は良くないと考えている（民間の知恵が必要）。（老人福祉センター：70代男性）



老人福祉センター

- A** 公約は実施していきたいと考えていますが、両社は、経営状況が良いとは言えず村が出資しているため民間のなり手がいない状況です。取締役が複数いるため相談しながら最善の運営をしていきます。また、村からの補助金を少しでも減らすよう経営努力をするよう社員・従業員とも一丸となって取り組んでまいります。

- Q** 味覚小屋前のグラウンドの利用方法を考えていますか。（原集会施設：80代男性）

- A** 信濃恋しをはじめ村内にいくつもの遊休公共施設があり、有効活用できるよう検討してまいります。

- Q** 地区の存続に不安がある。（鶯巣活性化施設：地区意見）

- A** このテーマについては全村にまたがる課題でありますので、以前より検討を続けてきましたが、現在地域おこし協力隊及び集落支援員を設置しており、こちらを活用いただければ少しでも地区の存続にお役に立てるかと思えます。地区担当制度も合わせてご活用ください。

- Q** 役場職員の教育について改めてほしい。（あいさつ・笑顔・親切さ・人を敬う心ができてない）（栄町集会施設：地区意見）

- A** 職員の教育に関しては、接客マナーの研修を行うなど、日頃から指導を行っていますが、不快な思いをさせているようでしたら大変申し訳なく思います。更なる、指導の徹底を行ってまいります。



栄町集会施設

- Q** 役場組織の見直しにより職員が挨拶でき明るくなった気がする。地区懇談会を細かく14会場でやっていただきありがたい。

（松島集会施設：80代男性）

- A** お褒めの言葉をいただきありがとうございます。村民のみなさんに対し役場は良くやっていると思われるような組織づくりをしていきます。村民のみなさんの声を聞かさせていただくことで行政との距離が身近になると思いますので、このような姿勢は今後も続けさせていただきます。



松島集会施設

- Q** 朝の放送（6：25）は非常に良いことだと思っているが、引き続いてすぐ定時放送ができればスマートだと思う。（鶯巣活性化施設：60代男性）

- A** 放送については、各懇談会場で良い意見をいただいています。定時放送と分けている点については、チャイムから月日に替える時点（試験的）で検討しましたが、システムの関係で出来ないことからあえて分けて放送させていただいています。他に良い方法があれば再度検討を考えていきます。この放送は婦人会からの提案で、高齢者のために日付の認知などを促すよう始めたもので、味気なさをなくすために結びに一言添えています。各懇談会場で非常に良いとの多数のご意見をいただいていることから今後のあり方を検討していきたいと考えます。



梨畑集会施設

- Q** 火災の時に最も近い場所を知らせてほしい。（梨畑集会施設：地区意見）

- A** 消防署の見解として個人を特定する場所は、周知出来ないとのことですので、村独自の周知方法を検討します。

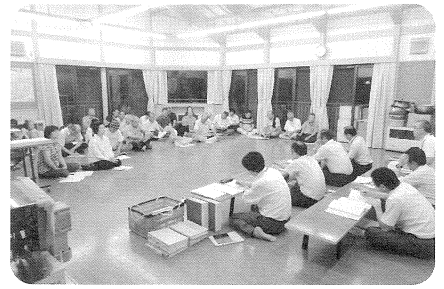
- Q** 街路灯の電気代の補助をお願いしたい。（老人福祉センター：地区意見）

- A** 既存の街路灯に限り一部補助を検討します。また、蛍光灯のままの箇所につきましてはLED化を検討します。

Q 災害警戒による避難指示は、どのような仕組みで発令されるのか。

(鶯巣活性化施設：60代男性)

A 地域防災計画に基づき判断します。また役場で待機する職員が気象庁などの機関や地区・地区担当からの情報により総合的に判断することになりますが、土砂災害警戒情報が発令されたときは、避難指示などを村全域で行う形となります。但し、夜中に土砂災害警戒情報が発令され避難指示などが出された場合、住民が避難所へ安全に避難できるか、避難しない方がよいか判断が難しいと思われまますので、自分で自身を守るなどの判断をお願いすることもあるかと思えます。



鶯巣活性化施設

Q 空き家や空き地などの増加対策について村の考えをお聞きたい。(ふれあいプラザ：地区意見)

A 天龍村空家等対策協議会を設置し、今後、協議会で村内空家の利活用を含めた対策方法、危険空家などの修繕、除去等適正な管理を促し行政処分を含めて検討していきます。

Q 村長公約の商店街の活性化について、どのように考えているのか。(原集会施設：80代男性)

A 買い物弱者対策の一環として、村営スーパー、共同店舗、移動販売、宅配が総合的にできるものを作りたいと考えています。

Q 見守り、安心の話がありましたが、タブレットはこれからですか。(向方老人憩いの家：60代男性)

A お年寄りでも簡単に操作ができ、また不感地域の解消に向け、現在NTTドコモと共同開発に取り組んでいます。通信料などの費用負担の問題もありますが、希望者を募り今年の秋以降には運用を開始したいと思います。

Q クオッシー券のアンケート結果はどうなったのか、また予算が増えている要因を教えてください。購入条件を限定し見直してほしい。本来の交通弱者に使ってほしい。(松島集会施設：80代男性)

A 現在、アンケートを集計し終え庁内会議で検討中です。議会の意見もいただきながら改善するか決めていきます。利用者の93%が65歳以上の方ですが、今後も村民のみなさんに喜ばれる事業になるようにしていきます。



大久那集会施設

Q 介護について地区住民が分かるように説明してほしい。

(大久那集会施設：地区意見)

A 一人住まいの高齢者や在宅で介護を必要としている人の手助けとして、ホームヘルパーやデイサービスセンターへ行き、入浴やリハビリなどのサービスを受ける制度や施設へ入り生活そのものについてのサービスを受ける制度など、様々な場面に応じたサービスがあります。サービスの受け方もその人によって様々で、体の不自由さによって介護度とよばれる段階があり、受けられるサービスの内容も変わってきます。認知症も含めて身体的に不自由になり困った時点で、適切な介護サービスの判断をします。高齢者や障がい者世帯などについては保健師の確保ができなかった頃は十分行えませんでした。しかし今年度から保健師の増員や地域包括支援センターも整備しましたので、今後は定期的な訪問を考えています。介護などで困った際は訪問の機会にでも相談してください。また、民生委員にも相談できますので、村や民生委員にお気楽に相談してください。

Q 老人福祉施設介護者の年齢が高齢、確保を早期に考えてほしい。また施設の更新をどのように考えているのか。(中井侍集会施設：80代男性)

A 村と社協が一緒になって施設の待機者対策を含め考えていきます。また建物の老朽化は建替えも含めて改修を検討していきます。介護士や介護従事者、有資格者の処遇も考えていきます。



中井侍集会施設

Q 地区内の水道整備を早急をお願いしたい。(大河内多目的集会施設：60代男性)

A 最低限必要なインフラについては整備していきます。早くて、鶯巣簡易水道の整備後（3年）の対応となりますのでご承知ください。



大河内多目的集会施設

Q 新しいごみ処理場における、プラスチックごみの受け入れはどうなのか。愛知県のように種類は問わず燃えるゴミで出せるような、先進的な取組みを考えてほしい。(戸口集会施設：60代男性)

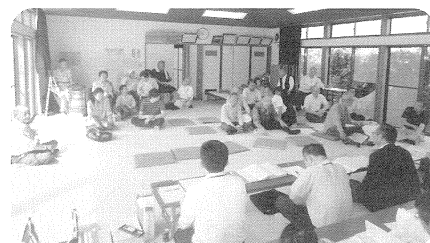
A 9月1日から袋もかわり、金属以外、プラスチックも燃えるごみとして出すことが可能です。容器包装リサイクル法の関係で今までどおりプラスチックの回収も行います。今までは汚れたプラスチックは洗って出していたのですが、今回から洗わずに燃えるごみとして処分することができます。

Q 熊伏山登山道の点検、整備を常に心がけていただきたい。(原集会施設：70代男性)

A 管理が困難な場所もありますが、定期的かつ優先的に整備をするように努めます。

Q 森林整備事業の計画策定について、取組み状況をお聞きしたい。林業に魅力が持てる山づくりを取入れ、大勢の方が携われるような整備事業に取り組んでいただきたい。スギ、ヒノキを植林するだけでなく、花木にも目を向けていただきたい。また、山に特化した地域おこし協力隊を募集してほしい。(向方老人憩いの家：60代男性)

A 行政主導で進めるわけにはいかないものですが、まずは村管理の村有林を有効活用したいと考えています。全体計画については、林業振興地域育成協議会のほか、みなさんのご意見をお聞きする中で決めていきたいと思えます。また、地域おこし協力隊につきましても、分野に特化した募集が行えるよう、林業分野においても実績を見ながら十分検討できますので考えていきたいと思えます。



向方老人憩いの家

Q サルの捕獲罠（檻）の設置場所が良くないのでは、追加設置をお願いしたい。(坂部活性化施設：70代男性)

A 地区猟友会とも相談しながらエサのない時期に検証し、地域の声を聞きながら効果のある場所へ設置します。



坂部活性化施設

Q 山村留学制度について、どの程度まで考えているのか、方針を教えてください。(松島集会施設：70代女性)

A 1学年3人から5人で教育効果が生まれるか疑問があり山村留学制度を考えています。5町村の協議の中では中学校を統合するという話も出ていますが、天龍村が子どもを増やす取組みを行ったうえで、統合について検討していきたいと思えます。山村留学制度は近辺の町村で、10人、20人近くきたという話を聞いたことから、天龍村も山村留学を検討する委員会を設置しました。問題はたくさんあり心に傷を持った子どもたちが来ることもあります。しかし、委員会では最初から山村留学ができないと言わず、前向きな検討をしようという方針でいます。子どもたちが先に来て、家族も来て、人口が増えるといういい例もありますのでいい方向になるよう検討してまいります。

Q 地域おこし協力隊や集落支援員の活動内容について、どのようなことをしているのか、地区としてどう関わるべきか、どのようなことを期待できるのか、活用方法について教えてください。(ふれあいプラザ：地区意見)

A 協力隊（6人）は、ヤマユリ保護、ゆずの活用、ていざなす栽培などの農業分野、村内外への情報発信などの広報宣伝などのほか、個々での活動を行い村外から若者を受け入れる活動などを行っています。現在、地区清掃、お祭りなどの行事への参加、支援も行っていきますので、お気軽にご相談ください。支援員（2人）は、集落の中での活動に特化し集落の点検、話し合い、支援などの活動を行っています。今年度から導入した制度ですので、協力隊同様、お気軽にご相談ください。



ふれあいプラザ